



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第409号

2019年6月10日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

先生を学校に配置して下さい

「新学期が始まったばかりなのに、担任の先生がいない」「産休や病気休暇の代替の先生が来ない」など、年度初めに法律で定められた教員が配置されない、いわゆる教員の「未配置問題」が今年も起きています。そして学校では、欠員となった先生の分の授業や事務量も増え、長時間労働に一層拍車がかかります。未配置問題は、教員にとっても子どもたちにとっても「よりよい教育環境」とは言えません。3月議会に引き続き、6月議会でも取り上げざるを得ない状況です。

教員の未配置状況を保護者に伝えるべき

未配置の実態について、八千代市は明らかにしようとはしません。「未配置」の現状は本来保護者に伝えるべきです。

しかし、八千代市では担任がいない場合のみ文書で周知しているということです。それ以外は先生の数が足りないのに子どもにも保護者にも知らされていません。八千代市の姿勢は、「未配置教員問題」を市民から遠ざけ、隠そうとするものです。

なぜ市教委は、保護者に教えないのかと問いただすと「公表することで、療養休暇・看護休暇等を取得している教職員名が特定されてしまい、学校の教育活動に支障を生ずる可能性がある」という回答でした。

働いている人たちの権利をないがしろにするような考えでは、未配置解消の根本的な解決にはなりません。今、保護者や先生・市民が「教員未配置の改善を求める請願署名」活動に取り組んでいます。

県の責任で未配置教員の解決を

八千代市の5月末現在の未配置の教員数は、小学校が4校で5人、中学校は3校で5人です。そのうち担任の未配置は1人。合計7校で本来いるべきはずの先生が10名未配置のままで、国が決めた基準を破っていることは許されません。



教員の採用を決めているのは、千葉県教育委員会です。本来正規で採用すべきなのに、「非常勤講師」が多数採用され続け、いざという時の「事故対応」の非常勤講師が配置できない状況です。解決のためには教員採用枠を増やし、定数内講師を段階的に減らすことです。そして、市教委は正規の休暇等補助教員を配置するように県教委に求めること。また市費で事故対策教員を任用することです。正規での教員採用で、「未配置教員」の抜本的解決につなげるべきです。

日本共産党は皆さんと力を合わせて「未配置問題」の改善するために全力を尽くします。